

パーキンソン病市民公開講座in埼玉

～ライブ配信～

※視聴には事前登録が必要です
(詳細は裏面をご覧ください)

受付締切：11月14日(土)正午

< 事前登録サイト >

https://que.ds-pharma.jp/form/pub/shiten_live/request_201115sai



日時

2020年 11月15日(日) 13:00~14:00

コロナ時代を乗り越える

-ニューノーマルでの自宅リハビリの重要性-

演者

市川 忠 先生

埼玉県総合リハビリテーションセンター 副センター長



<ご略歴>

1986年3月 東京医科歯科大学医学部卒業

1986年5月 東京医科歯科大学神経内科入局

1988年1月 東京医科歯科大学付属病院神経内科

1994年4月 埼玉県総合リハビリテーションセンター 神経内科医長

2016年4月 埼玉県総合リハビリテーションセンター 副センター長

資格：医学博士、日本神経学会指導医、日本認知症学会指導医

所属学会：日本神経学会、日本認知症学会、MDS-J、日本神経治療学会、
日本臨床神経生理学会、日本リハビリテーション医学会

主催：大日本住友製薬株式会社

<講演抄録>

本年1月に中国・武漢に始まり、瞬く間に世界中に広まった新型コロナウイルス感染症(Covid-19)パンデミックは、パーキンソン病患者さんに大きな衝撃・影響を与えています。その一つは外出制限などによる自粛生活での身体活動低下であり、これにより起立歩行に必要な筋力やバランスなどが低下している患者さんが多くなっています。第二は、感染に対する恐れや自粛生活による心理的ストレスです。心理的ストレスが増大するとドパミン作動性ニューロンが脆弱となり、パーキンソン病が悪化する可能性があります。

この活動低下、ストレス増大に対応するには、なんといっても、運動やリハビリです。運動やリハビリによって神経保護作用が期待され、またストレス緩和につながります。講演ではご自宅でできるリハビリについてご説明します。コロナ時代を乗り切るために、最も必要で副作用がない治療は、自宅で十分にリハビリ・運動を継続することです。

< ご視聴方法のご案内 >

ご視聴には事前登録が必要です。

1. 右のURLまたはQRコードから事前登録サイトへ
2. 「氏名・メールアドレス・都道府県」を入力
3. 登録完了後、視聴用URLの記載されたメールが送られてきます。
内容をご確認ください。

<視聴案内メールが届かない場合>

迷惑メール対策等で、ドメイン指定受信を設定されている場合、メールが正しく届かないことがあります。

以下のドメインを受信できるように設定をお願い致します。

@ds-pharma.co.jp

お手持ちのインターネット接続が可能な、

パソコン・スマートフォン・タブレット型端末等でご視聴下さい。

ご連絡いただく「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。